

● 7月17日(土) 快晴 有珠山

道の駅「ニセコビュープラザ」泊

・朝5時前に起床。昨夜駐車場に一杯いた車はどこへ行ったのやらパラパラしか止まっていない。それでも日本各地から来ている、沖縄の車も止まっている。昨夜はトイレのそばに止めて寝たが、朝食のため水道のそばに移動した。雨は降っていないが曇り空で薄っすらと霧がかかっている。ゆっくり朝食をとり、パソコンとメールをやっていたら8時を過ぎていた。今日は天気良ければ有珠山にでも登ってみようかと思って、有珠山の基地、道の駅「そうべつサムズ」に行くことにした。



道の駅「そうべつサムズ」で情報入手

・道の駅「そうべつサムズ(情報館)」へは9時の開館を待って入館し、有珠山と昭和新山の情報をもらい、資料とロープウエーの割引券を入手した。物産館ではさくらんぼ(佐藤錦?)を売っていたので1パック購入、さらにトマトも仕入れた。有珠山方面は霧がかかっているが、なんとなく明るくて霧が晴れそうなので有珠山の麓ロープウエー駅まで車を走らせた。有珠山はまだ霧の中だが駐車場はすっかり晴れている。駐車料410円、ロープウエーは割引券で1310円。10:00発のロープウエーに乗って有珠山の上へ向かった。土曜日だというのに乗客は10人位でがらがら。登るにつれて雲が切れ、眼下に昭和新山の奇怪な姿が見えてきた。



眼下に昭和新山の奇怪な姿が見えてきた



・ロープウエーを降りると上はなんと快晴、日差しがガンガン照りつけている。少し歩いて有珠山火口原展望台へ着いた。正面に有珠山が、足元には大きな火口が口を開けていて絶景だ。有珠山の山頂へは道が無く登れないが、火口の周りに途中まで遊歩道が作ってあり、一周は出来ないが往復2時間弱で奥の方まで行ってこられる。私は当然遊歩道に入った。一緒に登って来た乗客は一人も遊歩道に入って来ず皆引き返して行ったので、また私一人の山行が始まった。

・遊歩道とはいえ大変な道だった。まず下りの階段から始まるが、標高差 100m以上、500 段を越える階段を下った。帰りはこれを登ることになる。



道端にセンダイハギが



標高差 100m以上、500 段を越える階段を下った
(向こうの尾根道を歩く)

・火山ゆえ日差しを遮るものが全く無く、炎天下の行軍が始まった。噴火口を右に見て、センダイハギなどの花も咲いている快適な尾根道だが、無風快晴の下多少の起伏のある外輪山遊歩道を、強烈な日差しを浴びながら汗まみれで歩くこと 40 分余、行き止まりの柵があり「有珠山」の標識が立っている。その前で記念撮影。ここまで来ると火口を半分くらい回りこんできたので、展望台では見られない絶景が開けている。展望台では有珠山の影になって見られなかった小有珠や噴煙を噴き上げている噴火口が間近に見られ、遠くには洞爺湖のウインザーホテルが高く聳えて見えている。



小有珠や噴火口が間近に見られる



ウインザーホテルが高く聳えて見える

この暑さの中草刈をしている数人のおじさんたちが休んでいたのので、ちょっとお話をして、パンと牛乳で昼食をとって、来た道を引き返した。心配したとおり最後の500段、100mの登りは大汗をかき、かなりきついものだった。結局出合ったのは2人しかいなかった。

・駐車場の正面に昭和新山が、真っ青な空を背にその異様な姿を陽の光に輝かせて聳えている。駐車場のおじさんに昭和新山をバックに写真を撮ってもらった。



今日の有珠山は今回の予定に無い全くの付録の山だったが、予期せぬ快晴に恵まれて今回の山紀行の最後を飾る素晴らしい山になった。

・今夜はおなじみのニセコに泊ろう。洞爺湖から真狩を通過してニセコへ向かったが、まず汗を流すため、お気に入りのニセコ駅前「綺羅の湯」へ直行した。やはり綺羅の湯は良い湯ですね。のんびり浸かって今日の疲れを癒してから、今日の宿泊予定地「ニセコビュープラザ」に向かった。天気がいいし土曜日だということもあるためか、メチャクチャ混んでいる。広い駐車場は満杯で大勢の人が右往左往している。幸運にも何時も止める私ご指定の場所が空いたのですぐに駐車、これで今日は万事旨く行った。ビールでも飲み始めようかと思ったが、真夏の太陽が暑くてとてもじっとしてられない。



羊蹄山の頂上付近が傘雲にすっぽり覆われた

日陰を探して駅の建物の中に避難した。しばらくするとあんなにすっきり晴れていた空に雲が出てきて太陽を隠し、涼しくなってきた。さっきまでくっきりと見えていた羊蹄山の頂上付近が大きな傘雲にすっぽり覆われてしまった。天気は下り坂だな。やっと涼しくなったのでそろそろビールを始めるか。5時を過ぎると、あんなに混雑していた駐車場も車がどんどん出て行ってかなり空いてきた。椅子を出して何時も代わり映えのしないおつまみでビール2缶、ほろ酔い気分で火を起こすのが面倒くさくなり、100円の焼きうどんを食べて今日の夕食は終了。

・朋子から、松前から送った松前漬けが届いた、そして伊藤君からメロンが届いたと電話が来た。
・今日は天気に恵まれ、山に恵まれ良い日だった。約一ヶ月間居た今年の北海道の山旅も終わり明日からはとうとう帰り支度だ。今7時、Good Night!

● 7月18日(日)

曇 移動

道の駅「サーモンパーク千歳」泊

・夜中に雨が降ったが朝起きると止んでいた。
5時半起床。さすがニセコの駅だ、数10台の車が泊っている。私の横は神戸、前は湘南、日本中から来ているが、みんな草々に何処かへ出て行った。簡単に朝食を済ませパソコンを開いたが、メールもあまり来ていないのですぐに終了。現在7時半。本州は梅雨が明けて猛暑が続いているという。北海道は気圧の谷にすっぽりとはまっています。当分天気が悪いらしい。ここは雨は降っていない。南のほうは明るいが北の方は真っ暗だ。昨日はなぜあんなに良い天気だったのだろうか？ 昨日良く見えていた羊蹄山やニセコの山々は雲の中で全然見えない。



朝 羊蹄山は雲の中で全然見えない

もう1時間以上もトイレの掃除をされていて使えない。でかくてきれいなトイレにしたためか、掃除も入念だ。ここにいてもやること無いのでそろそろ出かけるか。現在8時をちょっと過ぎた。

・今日の昼飯は道の駅「フォーレスト276大滝」の隣にある「きのこ王国」の「大滝そば」にしよう、昨年食べて味とボリュームに感動したそばだ。このまま大滝へ行くと早すぎるので途中でいろいろ寄り道をした。真狩ではフラワーランドを見ようと寄ったが、あまりにも貧弱なので外から眺めただけで入らなかった。次はルスツ、9時の開館と同時に入って買い物をしようとしたが、昨年買った「かぼちゃスープ」が置いてないし、他にたいしたものがないので何も買わずに出た。



一面花満開のジャガイモ畑

すぐそばにあり、毎年前を通過して入ったことの無いテーマパーク「ルスツリゾート」に寄ってみた。

日曜日なので車で一杯、単なるレジャーランドのようで期待外れだったので、車から下りずに場内を通過した。ルスツから大滝までの276号線(尻別国道)は田園風景で、一面のジャガイモ畑には花が満開だった。目的の大滝へ10時前に着いてしまった。まだ腹も減っていないので時間つぶしと腹減らしのため駅周辺をぶらぶらした。

・道の駅「フォーレスト276大滝」に入って驚いた。昨年まではメルヘンチックで良い駅だったが、今年は全部「花畑牧場」になっていて、売店、レストラン、喫茶全て花畑牧場が経営。これじゃ誰も来ないよね。駐車場はガラガラ、客も殆ど居ない。昨年までの活気が全く無い。それに比べて隣に建っている「きのこ王国」は駐車場は満杯だし、店内は客でごった返しているものすごい活気。トイレだって大きくてきれい、おまけに24時間解放している。こちらの方がよっぽど道の駅らしい。私もきのこの佃煮や種々ビン詰めをお土産に買った。そうこうしているうちに腹が減ってきたので、お目当ての「大滝そば」を食べた。880円ながら絶品だ！大滝へ来たならきのこ王国でまずこれを食わないと。いま11時半を過ぎたところ、そろそろ千歳へ向けて出かけるか。雲が切れて太陽が顔を出し暑くなってきた。

・まだ時間が早いので、支笏湖の休暇村に寄った。ここは今回の山旅の最初、不風死岳を下りて寄ったところで、旅の最初と終わりに寄ったことになる。初めて公園内を散歩したが、静かでなかなか良いところだ、が新婚らしき若いカップルがいっぱい歩いていて、なんとなく居づらいところだ。車を駐車場の木陰に止めて一眠り、30分くらい寝たのだろうか。すっきりして千歳へ向かった。



支笏湖の休暇村から見る支笏湖

・この辺はもうすっかり地理に明るくなった。途中で買い物をしながら道の駅「サーモンパーク千歳」に到着。ここでも幸運にもいつも止めるご指定の駐車場所が空いていた。4時前に雨が降り出し、どんどん強く、本降りになってきた、夕立か。車の外へ出ることも出来ず、なにもすることも無いので当然ビールを飲み始めた。車の中に閉じ込められて飲むのは初めてかな？さんまの煮物、蕎麦の煮物、きゅーりの酢の物を肴に2缶空いた。そのうち雨もあかってきたので後のドアを開けて飲み直し。



群馬ナンバーのアルファード

隣に止まっている群馬ナンバーのアルファードのおじさんが声を掛けてきた。ご夫婦と娘さんそれにワンちゃんに来ているが、車で旅をするのは初めてだという。先輩ずらしていろいろとアドバイスしてあげた。

主食は五目ごはん、湯煎で暖めてなかなかいける。食後はコーヒーでリッチな気分で日記を書き始めた。雨もすっかり上がりひんやりと涼しくなり実に気持ちが良い。

・北海道での暮らしもとうとう大詰めだ、なんだかすべて順調に進んだような気がする。

6:15 ベッドメイキング、おやすみ。



草々にベッドメイキング